

第1回
日水コン水インフラ財団 助成・支援事業

募集要項

地域の水インフラの実現に貢献し、
地域活力の向上と豊かな水環境の創造のために

2021年3月

一般財団法人 日水コン水インフラ財団
Nissuicon Water Value-Up Foundation

第1回 日水コン水インフラ財団 助成・支援事業 募集要項

1. 目的

一般財団法人日水コン水インフラ財団（以下、「当財団」という。）では、持続可能な地域の水インフラの実現に加え、地域活力の向上と豊かな水環境を創造するため、地域の水インフラを支える研究、人材の育成、水文化の継承及び新しい技術、運用システム、事業開発に係る諸活動に対し助成・支援等を行っています。第1回助成・支援事業の募集要項は以下のとおりです。

2. スケジュール

表1 スケジュール

応募期間	2021年4月1日（木）～2021年4月30日（金）
書類提出期限	2021年4月30日（金）17時までメール送付又は郵送必着
選考委員会／理事会	2021年5月17日（月）
選考結果通知（メール）	2021年6月1日（火）
助成金交付、支援金出資	2021年6月1日（火）以降
事業実施期間	2021年6月1日（火）～2022年3月31日（木） ※研究助成部門の一部は2023年3月31日（金）まで ※事業化支援部門は原則的に2026年3月31日（火）まで
事業実施報告および精算	2022年3月31日（木） ※研究助成部門の一部は2023年3月31日（金） ※事業化支援部門は原則的に2026年3月31日（火）
成果報告会、表彰式	2022年5月中旬～下旬 ※研究助成部門の一部は2023年5月中旬～下旬

3. 助成・支援事業

(1) 研究助成部門

以下のようなテーマに係る、具体的な調査や研究に対して助成を行います。

- －地域の水循環や水環境
- －地域における水・エネルギーの活用
- －地域の防災や持続可能社会構築のための水環境教育
- －水を考える人材育成
- －川や水に関する地域の歴史・文化・伝統
- －水を活用したまちづくり

(2) 活動助成部門

以下のようなテーマに係る、具体的な地域活動に対して助成を行います。

- 地域の水循環や水環境改善に資する活動
- 地域における水・エネルギーを活用する活動
- 地域の防災や持続可能社会構築のための水環境教育活動
- 水を考える人材育成に焦点を当てた活動
- 川や水に関する地域の歴史・文化・伝統への理解を深める活動
- 水を活用したまちづくりに関する活動

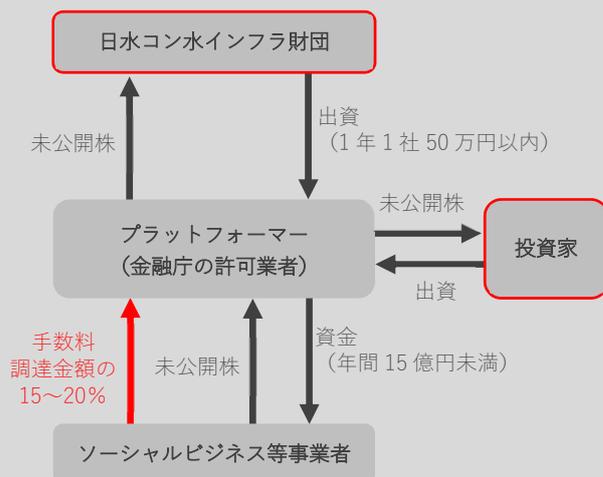
(3) 事業化支援部門

ソーシャルビジネス等、「水」及び「地域」に関する社会的課題の解決に向けて新たに取り組む事業者に対して、出資等による資金支援を行います。

※ ソーシャルビジネスとは、地域社会の課題解決に向けて、住民、NPO、企業など様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組むこと

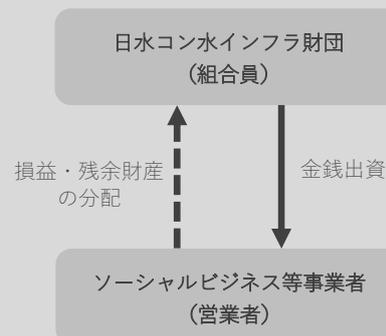
- 「水」と「地域」に関する課題をビジネスという事業活動を通じて解決しようという新たな取り組みを支援するものです。新規のソーシャルビジネスやベンチャー企業への匿名組合出資等を想定しています。
- スキームは事業に応じた組織形態を検討いただき、適切な手法を選択してください。
- 5年程度の期間で、ビジネスとしての成立可能性をご検討いただきます。

① 例1：株式投資型クラウドファンディング手法



※ 投資した株式は、投資した企業（ソーシャルビジネス等事業者）がIPO（新規株式公開）することで市場で換金。

② 例2：匿名組合出資手法



※ 商法第535条の規定に基づき、匿名組合員は営業者の営業のために出資を行う。営業者が営業から生ずる利益を匿名組合員に分配。

- 選考された場合、支援（出資）実行は2021年6月1日以降2022年3月31日までの期間に実施し、原則的に2026年3月31日まで継続するものとします（原則、2026年3月31日に残存価値相当額を回収します）。
- 支援額は、事業に係る申請者の拠出金（出資金）の倍額とします。（上限額範囲内）
- 匿名組合出資の場合、当財団は出資額を超えて収益の配当または出資対象事業に係る財産の分配を受けることはありません。

4. 助成・支援金額

表2 助成・支援金額

部門	コース※	助成・支援金額上限	件数目安
研究助成部門	専門家コース	200万円	2件
	ジュニア・シニアコース	20万円	5件
活動助成部門	一般コース	200万円	2件
	ジュニア・シニアコース	20万円	5件
事業化支援部門	新規ビジネスコース	1,000万円	1件

※同一部門におけるコースの違いは、助成・支援金額上限の違いです。

選考項目は同一ですが、それぞれの要求水準によって金額の高低が異なります。

専門家コースは、主に大学、高专等、その他研究機関（NPO・任意団体含む）に所属する研究者の方を対象としています。

ジュニアコースについては、P7「Appendix（抜粋）～ジュニア研究者・活動者のために～」を参照してください。

5. 選考委員、選考方法

(1) 選考委員

学識経験者、日水コン社員等。

詳細は、当財団のウェブサイトをご覧ください（URL：<https://mizuinfra.or.jp/>）。

(2) 選考方法

① 研究助成部門

選考は書類審査で実施します。選考委員が下記の選考項目・選考基準について総合的に審査を行います。

表3 研究助成部門

目的	<ul style="list-style-type: none"> • 調査・研究の目的が明確か。 • 目的が、「水」及び「地域」における課題を踏まえたものであるか。 • 調査・研究の独自性はみられるか。
成果	<ul style="list-style-type: none"> • 目指す成果の形（アウトカム）が明らかであるか。 • 「水」及び「地域」における活動に成果を活用することが期待できるか。
内容	<ul style="list-style-type: none"> • 成果を得るまでのプロセスに論理的矛盾がないか。 • 萌芽的な調査・研究または今後の発展が期待できる調査・研究であるか。 • （ジュニア研究者の場合）生徒が主体となった調査・研究であるか。
実施可能性	<ul style="list-style-type: none"> • 調査・研究の実施内容、実施スケジュールが適切か。

② 活動助成部門

選考は書類審査で実施します。選考委員が下記の選考項目・選考基準について総合的に審査を行います。

表4 活動助成部門

目的	<ul style="list-style-type: none">• 活動の目的が明確か。• 目的が、「水」及び「地域」における課題を踏まえたものであるか。• (ジュニア活動者の場合)「水」と「地域」を題材とした活動を通じて、子どもの力を育成するものであるか。
成果	<ul style="list-style-type: none">• 目指す成果の形(アウトカム)が明らかであるか。• 「水」及び「地域」における成果の活用が期待できるか。ジュニア活動者の場合、他の学校の参考になるか。
内容	<ul style="list-style-type: none">• アウトカムを達成するために適正な活動内容になっているか。• 活動内容が具体的に述べられているか。• 独自の視点があり、新たな取り組みが提案されているか。• (ジュニア活動者の場合)生徒が主体となった活動であるか。
実施可能性	<ul style="list-style-type: none">• 活動の実施内容、実施スケジュールが適切か。• 地域の関係者との連携や協力が期待できる活動実施体制となっているか。

③ 事業化支援部門

書類審査ののちプレゼンテーションと質疑応答を実施し、選考委員により下記の視点により総合的に審査します。(プレゼンテーションは、ウェブ会議システムの使用を可とします。日程等は個別にご連絡します)。

表5 事業化支援部門

事業の背景と目的	<ul style="list-style-type: none">• 「水」と「地域」に関する社会インフラの課題解決につながる事業であるか。
ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none">• 地域社会からのニーズが高い事業か。• なぜその問題等に取り組まなければならないのが明確であるか。• 事業の内容や手法は適切であるか。
収益性	<ul style="list-style-type: none">• 提出されたビジネスプランで収益化が可能であると認められるか。
事業の発展可能性	<ul style="list-style-type: none">• 「水」及び「地域」の様々な活動に広がる可能性を持つ事業か。

6. 応募方法

当財団のウェブサイト(URL:<https://mizuinfra.or.jp/>)より下記の手順に沿ってご応募下さい。応募期間は2021年4月1日(木)~2021年4月30日(金)、書類提出期限は2021年4月30日(金)17時までです。期限を過ぎた応募及び提出書類は、受付いたしかねますので、ご注意ください。なお、応募は1対象者1事業とさせていただきます。ご提出いただいた資料は返却いたしませんので、ご了承ください。また、応募にあたっては、別紙「留意事項」及び「FAQ」を必ずご確認ください。

(1) 応募手順

当財団ウェブサイトのエントリーフォームに必要事項を記入してお申し込みください。担当者より「提出先メールアドレス」を折り返しメールで連絡いたしますので、提出書類を所定の添付書類とともに締め切り日までにメールで提出してください。提出書類は、当財団のウェブサイトよりダウンロードしてください。容量制限等によりメールで送付できない場合は、オンラインストレージ上から提出することができます。オンラインストレージのURLを当財団事務局までメールでご連絡ください。または、CD-R もしくはDVD に収録して当財団事務局宛て郵送することもできます。この場合の提出期限は、2021年4月30日（金）17時必着とします。

(2) 提出書類

- 1) 研究助成部門（専門家コース）
 - ア. 研究助成申請書
 - イ. 申請金額内訳書
 - ウ. 研究内容詳細
- 2) 活動助成部門（一般コース）
 - ア. 活動助成申請書
 - イ. 申請金額内訳書
 - ウ. 実施スケジュール
 - エ. 活動内容詳細
- 3) 研究助成部門及び活動助成部門のジュニア・シニアコース（共通）
 - ア. 研究・活動助成申請書
 - イ. 申請金額内訳書
 - ウ. 研究・活動内容
- 4) 事業化支援部門
 - ア. 事業化支援申請書
 - イ. ビジネスプラン（様式は任意。分量はA4で10～15枚程度としてください）
 - ※標準的な記載事項は次の通り。
 - －事業の背景と目的
 - －ビジネスモデル（人、モノ、情報、お金の流れ）
 - －スケジュール
 - －収支計画・資金計画（2026年3月31日まで）
 - －陣容（組織体制、協力者や連携先等）
 - ウ. 応募者関連資料（定款、履歴事項全部証明書、直近期事業報告書・財務諸表）

(3) 年度を連続しての応募について

研究助成部門は、年度を連続して応募することはできません。研究期間1年10カ月

を選択した場合でも、応募する際は期間終了後最短 1 年の期間は空けてください。なお、活動助成部門は、年度を連続して応募可能です。また、一つの助成部門で採択された年度に連続して他の助成部門に応募することも可能です。

7. 成果の発表と表彰

① 研究助成事業

- 助成事業の成果を広く周知し社会に還元するとともに、「水」と「地域」に関する調査研究のさらなる発展と助成事業の一層の充実を図るため、研究部門の全ての助成事業者は報告書を提出するとともに「日水コン水インフラ財団成果発表会」で発表（web 可）して頂きます。なお、報告書の著作権は、原則として研究者に帰属するものとします。ただし、学会発表等で利用する場合は、事前に当財団の了解を取り、当財団の助成金を得たことを必ず明記してください。
- 報告された成果は評価を行い、優秀な研究・活動については表彰を行う予定です。

② 活動助成事業

- 助成事業の成果を広く周知し社会に還元するため、全ての助成団体等は「日水コン水インフラ財団成果発表会」で発表（web 可）していただきます。
- 報告された成果は評価を行い、優秀成果については表彰を行う予定です。
- 活動については、財団 web にて動画配信等により公開いたします。

③ 事業化支援部門

- 事業者名、所在地、取組内容について公表することがあります。本支援事業の申請書提出をもって同意したものとします。
- 年 2 回以上の活動・決算報告をお願いします。

8. その他

- (1) 選考結果の理由等に関するお問合せには応じかねますので、ご了承ください。なお、助成・支援先発表時に総評を公表します。
- (2) 提出書類その他に記載されている個人情報、個人情報保護法を遵守し、本選考及び当財団からの連絡以外の目的に使用することはありません。

以 上

《お問い合わせ先》

〒163-1122

東京都新宿区西新宿 6 丁目 22 番 1 号（新宿スクエアタワー）

一般財団法人 日水コン水インフラ財団 事務局 三浦・高橋

TEL：03-5323-6471 FAX：03-5323-6475

Appendix (抜粋)

～ジュニア研究者・活動者のために～

1. 助成事業

(1) 研究助成部門

川や水に関する地域の歴史・文化・伝統などについて小学生・中学生・高校生等が主体となった研究

(2) 活動助成部門

川や水に関する地域の歴史・文化・伝統などについて小学生・中学生・高校生等が主体となって理解を深める活動

2. 助成金額 20万円/件

3. 選考項目

(1) 研究助成部門

目的	・目的が、「水」及び「地域」に関係するものであるか。
成果	・目指す成果の形（アウトカム）や、それをどこにどのように発信しようとしているかのかが明確であるか。
内容	・生徒が主体となった調査・研究であるか。
その他	・実施内容、実施スケジュールは適切か。

(2) 活動助成部門

目的	・「水」と「地域」を題材とした活動を通じて、子どもの力を育成するものであるか。
成果	・他の学校の参考になるか。
内容	・生徒が主体となった活動であるか。
その他	・実施内容、実施スケジュールは適切か。

4. その他

ジュニア研究者・活動者に対する助成の対象は、小学生、中学生もしくは高校生がクラブ（部）活動等を行う小学校、中学校もしくは高等学校です。そのためクラブ活動担当の教諭の方が申請代表者となって申請してください。

なお、生徒の活動であれば、活動主催者が学校外部の組織でも構いません。その場合は、その外部の組織の代表の方が申請代表者となって申請ください。